

第 54 期

中 間 報 告 書

平成28年 1 月 1 日から
平成28年 6 月 30 日まで

第一精工株式会社

株主の皆様へ

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、この度当社第54期第2四半期連結累計期間（平成28年1月1日から平成28年6月30日まで）を終了しましたので、事業の概況についてご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間においては、米国では雇用環境改善の動きに鈍化の傾向が見られ、輸出や設備投資も海外景気の低迷による外需の伸び悩みを受けて減少が続くなど、景気回復のテンポは弱いものとなりました。

また、消費主導で景気回復を続けてきた欧州では、英国の欧州連合（EU）離脱問題の影響により雇用・所得環境への先行き懸念が広がり、それにより低下した消費者マインドが個人消費の下押し要因となるなど、先進国経済は力強さを欠く状況が続きました。更に、中国やその他新興国経済においても減速基調をたどり、全体として景気回復は緩慢なまま推移しました。

わが国では、雇用回復などの下支えはあるものの、不安定な海外情勢を背景に円高・株安が進行し、その影響などにより消費者マインドに弱さが見られ、また企業の生産活動、設備投資及び輸出も伸び悩むなど、景気の足踏み状態が続きました。

このような経済環境の中で当社グループの電気・電子部品事業は、パソコンやスマートフォンの販売が引き続き低調であったことから、それらに使用されるアンテナ用超小型RF同軸コネクタや細線同軸コネクタの需要が減少したことに加え、急激な円高の影響もあり低迷しました。FPC/FFCコネクタや基板対基板コネクタについては、新規開発品の市場投入により新たにスマートフォンやパソコン等への採用が進み、伸長しました。HDD機構部品については、パソコン向けの需要は低迷したものの、サーバー向けは比較的堅調に推移しました。

自動車部品事業は、主要な自動車市場である北米や中国等を筆頭に自動車販売が好調に推移する中、燃費向上や排出ガス抑制等に効果を発揮する回転センサや圧力センサ等の電装部品需要が引き続き伸長しました。また、自社ブランドの車載用コネクタについても、LEDヘッドライト等に使用される耐熱・耐振性に優れたコネクタの搭載車種が拡大した他、メモリーシートモジュール等に使用される電子制御向けコネクタが好調に推移しました。

設備事業は、主要顧客である半導体メーカーや後工程受託会社の設備投資意欲が盛り上がりを欠く中、投資計画が先送りになる等、設備需要が減少したことが影響し低迷しました。しかしながら、車載向け半導体の製造に使用される半導体樹脂封止用金型等は自動車販売が好調に推移し、更に電装化も進展していることから比較的安定した需要が見られました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は22,083百万円（前年同四半期比5.1%減）、営業損失410百万円（前年同四半期は営業利益462百万円）、経常損失1,246百万円（前年同四半期は経常利益859百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失1,393百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益468百万円）となりました。

なお、中間配当金につきましては、1株当たり5円とさせていただきます。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成28年9月

第一精工株式会社

代表取締役社長 小 西 英 樹

第 2 四 半 期 連 結 貸 借 対 照 表

(平成28年 6 月 30 日 現在)

(単位：百万円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流 動 資 産	27,892	流 動 負 債	8,931
現金及び預金	10,621	支払手形及び買掛金	2,120
受取手形及び売掛金	9,331	短期借入金	2,989
製 品	3,304	未払法人税等	338
仕 掛 品	1,763	賞 与 引 当 金	1,608
原材料及び貯蔵品	1,421	そ の 他	1,874
繰延税金資産	359	固 定 負 債	4,132
そ の 他	1,096	長期借入金	2,198
貸倒引当金	△7	繰延税金負債	719
固 定 資 産	27,114	役員退職慰労引当金	252
有 形 固 定 資 産	25,979	退職給付に係る負債	340
建物及び構築物	5,226	そ の 他	621
機械装置及び運搬具	9,228	負 債 合 計	13,064
工具、器具及び備品	2,708	純 資 産 の 部	
土 地	3,420	株 主 資 本	42,732
建設仮勘定	5,396	資 本 金	8,522
無 形 固 定 資 産	392	資 本 剩 余 金	8,046
そ の 他	392	利 益 剩 余 金	26,163
投 資 其 他 の 資 産	742	自 己 株 式	△0
繰延税金資産	28	その他の包括利益累計額	△847
そ の 他	751	その他有価証券評価差額金	8
貸倒引当金	△37	為替換算調整勘定	△989
資 産 合 計	55,006	退職給付に係る調整累計額	133
		非支配株主持分	56
		純 資 産 合 計	41,941
		負 債 ・ 純 資 産 合 計	55,006

第 2 四 半 期 連 結 損 益 計 算 書

(平成28年 1 月 1 日から平成28年 6 月30日まで)

(単位：百万円)

科 目	金 額
売 上 高	22,083
売 上 原 価	16,478
売 上 総 利 益	5,605
販売費及び一般管理費	6,016
営 業 損 失	410
営 業 外 収 益	297
受 取 利 息 及 び 配 当 金	7
助 成 金 収 入	270
そ の 他	19
営 業 外 費 用	1,133
支 払 利 息	30
為 替 差 損	1,093
そ の 他	9
経 常 損 失	1,246
税金等調整前四半期純損失	1,246
法人税、住民税及び事業税	259
法人税等調整額	△117
四 半 期 純 損 失	1,388
非支配株主に帰属する四半期純利益	4
親会社株主に帰属する四半期純損失	1,393

株式の状況 (平成28年6月30日現在)

発行可能株式総数	20,000,000株
発行済株式の総数	16,722,800株
株主数	6,148名
大株主	

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社ディー・エム・シー	7,200,300	43.1
第一精工従業員持株会	719,680	4.3
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	640,400	3.8
小西英樹	496,600	3.0
CACEIS BANK LUXEMBOURG-CLIENT ACCOUNT	327,600	2.0
小西達也	240,000	1.4
CBNY DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	221,895	1.3
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	209,300	1.3
小西玲仁	160,000	1.0
J. P. MORGAN CLEARING CORP-CLEARING	150,900	0.9

(注) 持株比率は自己株式(114株)を控除して計算しております。

会社概要 (平成28年6月30日現在)

商号	第一精工株式会社
設立	昭和38年7月10日
本社所在地	〒612-8024 京都市伏見区桃山町根来12番地4
資本金	85億2,269万円
従業員数	単体：1,736人 連結：5,878人
主要取引銀行	京都銀行、三菱東京UFJ銀行、みずほ銀行、三井住友銀行

役員 (平成28年6月30日現在)

代表取締役社長	小西英樹
専務取締役	福元哲巳
常務取締役	土山隆治
常務取締役	緒方健治
常務取締役	原田隆利
常務取締役	田籠康明
取締役	後藤信明
取締役	遠藤隆吉
取締役	原昭彦
取締役	岡田和廣
取締役	橋口純一
常勤監査役	庭野修次
監査役	角田宗熙
監査役	中田均治
監査役	前出吉治

※取締役 岡田和廣氏、橋口純一氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。

※監査役 庭野修次氏、角田宗熙氏、中田均氏、前出吉治氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

株主メモ

事業年度	1月1日から12月31日まで
定時株主総会	3月
基準日	定時株主総会 12月31日 剰余金の配当 期末 12月31日 中間 6月30日
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先・照会先	大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 (〒541-8502) 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話 (通話料無料) 0120-094-777
公告の方法	電子公告とし、当社ホームページに掲載いたします。 (http://www.daiichi-seiko.co.jp) ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求、配当金の振込指定、その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっておりますので、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。